

(様式第1号)(第2条16号関係)

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市上田180-6
評価実施期間： 令和7年10月17日から令和8年2月25日 *契約日から評価結果の確定日(通常、評価結果報告会日)まで	
評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載) 50431 B18052 B2025009	

2 福祉サービス事業者情報 (R7年 12月現在)

事業所名： (施設名) 松島保育園	種別：保育所
代表者氏名： 町長 白鳥 政徳 (管理者氏名) 園長 小沢 美由紀	定員(利用人数)：200(186)名
設置主体：箕輪町 経営主体：箕輪町	開設(指定)年月日： 平成11年 4月 1日
所在地：〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪10275番地2	
電話番号：0265-79-2319	FAX番号：0265-79-2364
電子メールアドレス：matsuho@town.minowa.lg.jp	
ホームページアドレス： https://www.town.minowa.lg.jp/kosodate/hoikuen/index.html	
職員数	常勤職員： 44名 非常勤職員 6名
専門職員	(専門職の名称)
	園長1名 総括主任保育士1名 主任保育士1名 保育士29名 保育補助6名 給食調理員6名
	保育士6名
施設・設備 の概要	(居室数)
	乳児室 1室 ほふく室 1室 保育室 12室 調理室 1室 事務室 1室 遊戯室 1室 トイレ 5室
	(設備等) 【戸外】 砂場・ブランコ・大型遊具・シーソー 登り棒・ジャングルジム・雲梯・鉄棒 太鼓橋・土管・赤土築山・プール

3 理念・基本方針

【箕輪町保育理念】

◎こども一人一人を大切に、保護者や、地域に愛される保育園を目指します。

【箕輪町保育方針】

- ・養護と教育を一体的に行い、こどもの発達を支援します。
- ・保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。

【園目標】

- ・たくましいこども
- ・やさしいこども

・自分で考え行動できるこども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

《箕輪町と園周辺の環境》

○長野県南部に位置する箕輪町は自然豊かな地域で、ダム湖や里山、山城跡などが点在しています。特に通称もみじ湖と呼ばれる箕輪ダムの周辺には、建設で沈んでしまった集落の住民の寄付等で1万本のもみじが植えられ、紅葉の名所として知られています。長野県内で町として最も人口の多い箕輪町は活気あふれる街並みも特徴です。

○箕輪町では、「箕輪町役場庁舎周辺事業」が第2回脱炭素都市づくり大賞「特別賞」を受賞するなど、環境を守るための優れた都市開発の取組をしています。同時に、子育て支援制度や取組が充実して、子育てしやすい町としての環境も整備されています。

○松島保育園は、町役場、文化センター、図書館、博物館、消防署、中学校など町の文化施設に隣接した、町内大規模園のひとつです。

《園の特徴》

○0歳児（8か月）から受け入れ可能な設備を整えています。また、町内の土曜保育希望園児の保育も実施しています。

○楽しく活動するための環境を整備しています。

・園庭には大きなプールや滑り台、遊具、裏庭には未満児が安全に過ごせる丸太広場もあります。

・夏の遊び用具や室内遊び用品の補充（ままごと、車、など）、絵本の補充も心がけ、保育環境の整備に取り組んでいます。

○地域との関わりを大切にしています。

・こどもたちと地域の関わりも多く、お寺の花まつり、神社の七五三祈願への参加は事業計画に組み入れています。

・地域の方にご協力いただきながら食育活動（野菜作り、収穫）や伝統行事の体験ができ、様々な実体験をしています。活動を通して地域の方に親しみをもち、感謝の気持ちを育んでいます。

・みのわ中部小学校とは交流の機会を多く持ち、こどもの育ちに継続性が持てるよう、連携を密にしています。

○業務支援システムの活用

・日々の園生活をドキュメンテーションとして知らせ、おたより、献立表、感染症情報などを配信しています。

・保護者からの連絡、登降園管理、写真販売などにも利用しています。

・業務システムの活用により、職員の事務仕事軽減等にもつながっています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）

3回（令和3年度）

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

○豊かな経験を通して、こどもたちの興味や関心、好奇心を育む保育に取り組んでいます。

・みのわっ子チャレンジ事業をきっかけにして、園では様々な体験ができるよう、指導計画の段階から育てたい力を明らかにして活動計画を策定しています。

「木の家を作りたい」「実のなる木や野菜を育てて食べたい」「クッキングもしてみたい」「お花も育てたいね」・・・というこどもたちの発想を的確にとらえて、ブルーベリーの鉢栽培に挑戦したりヒマワリやオシロイバナ、朝顔を育てたりしていました。

また、リトミックや運動遊び、わらべ歌遊び、乗馬体験（パカパカ塾）などに加え、高遠青少年自然の家での体験など、園の特性を活かし、こどもたちの「みたい」「ふれたい」「しりたい」「やりたい」という好奇心を育む保育を実践しています。こどもたちが様々な体験を通して興味や関心の視野を広げられるよう、環境設定や働き掛けの工夫をしていました。

・職員は、常にこどもの言動や経験、保護者の声などたくさんの情報を得て、こどもの興味や関心に敏感であるよう努めています。こどもが興味を持っていることを一緒に調べたり、「どうしてだろう？」と投げかけたりすることで探求心や想像力がさらに大きくなるよう保育を進めています。

○こどもの主体性を育て想像力を伸ばす保育をしています。

・職員は、園生活の様々な遊びや生活の場面でこどもの姿や言動を注意深く見守っています。スムーズな場面だけではなく、こどもの困り感にも注目しながら、その子なりに工夫をし「できた!」と思える経験を大切にしています。そのような体験を積み重ねてこどもが自分から「やってみたい」と思えるような環境設定の在り方を学び合っています。

・こどもが自分で課題を見つけて判断し、どうしたらよいかに向けて取り組む姿、挑戦する姿を記録して、こどもの主体性の育ちとともに、保育者自身の視野も広がるよう、組織的に取り組んでいます。

・散歩や飼育、畑活動など、町の中心地にあっても自然に触れる機会を意識的に多く持つようにしています。自然の中で思い切り体を動かして遊ぶ、自然物を使って制作を楽しむなど、こどもたちの五感を刺激し、たくさんの発見をすることで想像力を育てています。

○運動遊びなど多様な経験の場を設定しています。

・2歳児から月1回の運動遊びに取り組んでいます。日常の活動や生活にも取り入れることでこどもたちは体の使い方を覚え、集団生活でも集中して話を聞く、などの姿勢が培われています。

・地域との関わりを意識的に多く持つことで、日常の保育園活動では経験できない刺激を受けて、こどもが自分の視野を広げています。その地域ならではの文化にも触れることは地域に愛着をもち、人とのふれあいから様々な人がいることを学び、コミュニケーション能力を育てています。

○園全体にまとまりがあり、穏やかな保育をしています。

・町内有数の大規模園で、園児数・職員数ともに多い保育園ですが、クラス年齢ごとに連携を密にしてチームワークよく保育にあたっています。様々な経験年数や知識、技術等をもつ職員が互いに尊重し合い、意見交換をして成長し合っています。

・園長先生は、大規模園であってもこども一人ひとりが居場所を見つけ、安心して生活できる環境を大切にしようと考えています。園児数と職員数が基準を満たしていればよい、ということだけではなく、こども同士や大人との距離感、空間を大事にしていることが聞き取りから確認できました。

◇特に改善する必要があると思う点

○園舎のあちらこちらに老朽化による不具合が多く出てきていることから、園では、担当課と相談して改善、改修を行っていきたいと考えています。

○箕輪町で策定された計画やマニュアル、研修計画、各事案の対応方法などが整備され、保育園でも推進されています。保育を進めるうえで判断の基準ともなり、安心して安定した園運営の指針となっていますが、これらのマニュアルや事業案は、「町が定めている」、というだけではなく、その内容を全職員が共有して、理解し実践していくことが大切です。どのような立場、雇用形態の職員であっても、定期的な読み合わせや園内研修等により、組織の一員として理解と周知が図られるよう期待します。

○保護者からの意見や提案、不便なこと、不安なことなど、苦情も含めた様々な声を聴く仕組み作りが望まれます。保護者側からの申し出を待つだけではなく、園側からの働き掛けで収集できる内容も多くあります。時代とともに変化する保護者のニーズを把握し、必要な支援やサービスが届くよう、利用者満足の向上を図る仕組み整備を期待します。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目(別添1)
- ・ 内容評価項目(別添2)

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）